

インフルエンザ

2021.10.1

インフルエンザは、インフルエンザウイルスに感染することにより起こる病気です。38度以上の発熱、頭痛、関節痛、筋肉痛、全身のだるさ等の症状が急速に現われるのが特徴です。また、普通の風邪と同じようにのどの痛み、鼻みず、咳等の症状も見られます。お子さまでは、まれに急性脳症を、ご高齢の方や免疫力の低下している方では肺炎を伴うなど重症になることがあります。

★予防として

①ワクチン接種

感染後に発病する可能性をおさえ、発病後重症化を防止すると言われています。

②咳エチケット

主な感染経路は咳などによる飛沫（ひまつ）感染です。マスクをして飛沫を浴びないようにすれば、感染する機会は大きく減少します。

③手洗い

手に付いたインフルエンザウイルスを除去するために有効です。

④適度な湿度

空気が乾燥すると気道粘膜の防御機能が低下し、インフルエンザにかかりやすくなります。適切な湿度は50～60%です。

⑤休養とバランスのとれた食事

⑥人混みを避け外出を控える

★検査と治療

インフルエンザウイルス1個が体内に入ると8時間後に100個、16時間後に1万個、24時間後に100万個という速度で増殖します。検査できる量までウイルスが増殖するのは、発熱後12時間以上経過してからとされています。抗インフルエンザウイルス薬はタミフル、イナビル、リレンザ等があります。発病から48時間以内に服用すると、発熱は1～2日短縮され、鼻やのどからのウイルス排出も減少します。当院ではインフルエンザ迅速検査を行っております。

インフルエンザ予防接種を10月18日から開始致します。